

六葉会会報

vol.15



関東学院六浦中学・高等学校同窓会

関東学院六浦中学校・高等学校 創立50周年記念誌が発行されました。

六葉会では、在校生全員に、この記念誌を増刷し贈呈させて頂きました。なお、卒業生でご購入希望の方は郵便振替口座をご利用下さい。先着200名様まで受け付けます。

一冊 1,500円（送料込）です。
手数料は別途お支払下さい。

郵便振替払込口座

口座番号 00240-4-56793

口座名 同窓会 六葉会



■目次

会長挨拶 六葉会会長 田野井 一雄	1
50周年を迎えて 校長 落越 道彦	2
石田先生の思い出 小宮山 勲	4
現役クラブ紹介 野澤美有紀	6
OB訪問 珊瑚礁 山田匠馬	7
思い出の街角スナップ	8
六葉会の活動	9
2002年度決算報告書	11
2003年度予算案	12
同窓会レポート 第5回あかばっち	13
学校へ行こう 「六浦祭」10/31・11/1開催	14
六葉会ホームページ	15
トピックス 卒業生のための文化経済交流はじまる！	16
クラス会に助成金	表3
維持会費のご協力のお願い	表3
募集コーナー	表3
編集後記	表3
関東学院六浦中学校生徒募集要項	裏表紙

50周年に よせて



六葉会会長

田野井 一雄

(第7回卒)

私達の母校関東学院六浦中学・高等学校が本年三十周年を迎えました。六葉会の六〇〇〇名を越える卒業生を代表して心よりお祝い申し上げます。私は第七回の卒業生です。当時を思い起こすと、学校は古い木造の二階建校舎で教室の真中に柱があり、廊下もところどころに床が抜けている様な所があり、歩くと上下に揺れていました。運動場は広く、土に混って貝殻が沢山あったのが印象的でした。そのグラウンドの隅にはプールの様な防火用水があり、冬にはよく氷が張りその上でスケート遊びをした思い出があります。古い木造の礼拝堂でのクリスマス会。今では考えられませんが、大学生がグラウンドでグライダーを大空に飛ばしていました。平潟湾の海、夕照橋、野島迄のマラソン、毎日通った金沢八景駅迄の道すがらのこと、数えればきりがないくらい、沢山の思い出が走馬燈のように頭の中を駆け巡ります。この思い出の母校も今や一変し、鉄筋コンクリートの校舎、素晴らしい設備の礼拝堂、生徒食堂もあり、本当に整備されました。しかしどんなに学校が近代的にな

ろうとも、どのように時代が変化しようとも、また先生方や生徒が変わろうとも、その根本に流れる建学の精神は不変です。関東学院の創始者坂田祐先生は“人になれ、奉仕せよ”という校訓を建学の精神として説かれました。

この短い八文字の中に、これ程人間としての生き方、あり方を説いた名文句はないと思います。日本は世界の中で、経済的に科学的に文化的に他に例を見ないくらい驚異的な発展を遂げました。しかし、“鉄は自らサビて、自らを滅ぼす”と言います。今あまりにも豊かさを追い求めたあまり、いろいろな問題が露呈されています。教育問題もしかりです。私学としての母校が単に知識を教えるだけでなく、真の感性豊かなそして個性豊かな人間を、今後世に送り出していただきたいと思っています。益々、母校が発展することを心より祈念し、三十周年のお祝の言葉とさせていただきます。

以上は今から二十年前三十周年記念誌に私が寄稿した文章です。本年五十周年にあたり今も変わらぬ思いで記しました。



50周年を 迎えて

校長
落越 道彦

本校は、昭和二十八年三月十四日
付けで県知事より正式に許可され、
関東学院中学校・高等学校六浦教室
から現在の関東学院六浦中学校・高
等学校の名称になりました。今年の
三月で五十年になりました。

今年三月の卒業生は第五十一回生
（六浦教室時代からのこともあり必
ずしも創立からの数え方とは一致し
ていませんが）として巣立って行き
ました。卒業生は一万名を越えてお
り各方面で活躍されておりますが、
とりわけ“人になれ 奉仕せよ”の
校訓によって培われた人生基盤で活
躍されているというのを伺うにつ
け、本校のもっている教育的使命を
改めて覚えさせられます。校訓の教
えと共にその卒業生の方々の中に流
れているものは何でしょうか。今年
の六浦祭のテーマを生徒達は「魂」
としました。生徒達は心の底に何か
を感じる六浦祭になるようにと言
うことで設定したそうですが、私は、

この「魂」と伝えられたときにすぐ
頭に浮かんだことは、卒業生の方々
が代々受け継いできた（意識すると
しないとに関わらず）関東学院六浦
中学校・高等学校「魂」ということ
でした。確かに本校は関東学院中学
校・高等学校から分離・独立したと
いう歴史ではありますが、過去に出
版された記念誌や、この度六葉会の
全面的なご支援のもとに出版されま
した五十周年の記念誌などを拝見し
ますと、初期の様子は、施設環境の
悪さは語り継がれるほどでしたが、
そのような中で学校としての機能を
教職員と生徒の皆さんが一緒になっ
て作り上げたということを思い知ら
されます。そこには、単に関東学院
中学校・高等学校のものを踏襲し善
としてきたのではなく、本校独自の
ものを生徒を始め関係者が一体とな
って作り上げられたものであり、ま
さに本校独自の「魂」が作られそれ
が脈々として受け継がれてきたもの

と考えます。この「魂」、精神とでも表現したら良いのでしょうか、なかなか意識しにくいところはありますが、後輩の皆さんもぜひ継承していったきたいと切望するものです。

この度の創立五十周年記念に際しましては、六葉会より本当に多くのご支援をいただきありがとうございます。十月二十五日付け神奈川新聞における記事や五十周年記念誌の発行などその企画の段階からそして費用の面まで全面的に応援していただきました。準備のために費やされた時間と労力は大変なものであり、感謝にたえません。このような働きをされる卒業生によって、本校の社会的評価が支えられている側面は大きいと思います。重ねてお礼申し上げます。とともにこの五十周年という通過点を意義ある通過点にしなければとの思いを新たにします。

本校を取り巻く社会的状況は、少

子化や経済状況がなかなか好転しない、加えて、公立学校の私学化傾向など非常に厳しいものがあります。関東学院全体の動きはここ近年激しいものがあります。既にご存じのよう

に二〇〇二年四月より関東学院女子短期大学が関東学院大学の人間環境学部という名称の新学部になりました。さらに、来年二〇〇四年度には大学の工学部で学科が大幅に改組されますし、法科大学院が新設されます。これからは、社会の変化に対応しより発展しようとするものです。本校もその法人の中にあって、変化の早い社会に対して、変えてはいけないものは堅持し、対応しなければならぬものには柔軟に対応しながらこれからも社会に貢献できる人物を育成して行かなければなりません。そのためにも、本校の様子を外に向かって発信して行くつもりです。卒業生の皆様のご支援をこれからもお願いする次第です。

生徒達は、皆様が在学されていた時と同様に、今日も伸び伸びと学校生活を送っていますことをご報告申し上げます。



石田昭義先生の思い出

四月十四日大井人君（現母校の宗教・主任）の電話で知りました。

石田先生が昨日の夕方教会から帰宅した後倒れ病院に搬送されたが意識が混濁して脳梗塞か脳溢血の疑いがあるとの事でした。私はすぐ自宅に電話をしました。私はずなにも出られませんでした。あまりにも突然の事なので数人の同期生には連絡をしましたが、ご家族の方は病院に付き添って居られる事と思いい次の連絡を待つ事としま

した。

しかし数日後危惧した事が現実となり先生の訃報を知らされました。数人の同回生を誘い藤沢の式場で営まれる前夜式に出席しました。式には先生のお人柄をしのばせ多数の教え子達学校又教会関係の方等あらゆる分野の方々が弔問に訪れていました。

その後六月一日母校の礼拝堂に於いて石田先生を偲ぶ会が厳かに営まれ、先生と関東学院のゆかり



の方々で在りし日の先生の思い出をしのびました。

その帰り恩師の太田先生と同期生数人が私方に寄って下さり再び先生の思い出を懐かしく語りあいました。あの頃の思い出と云えば各先生に、あだながついていました。一人一人名前を掲げていけば限りがありませんがかなり大勢いました。誰が付けたかは判りませんでしたが生徒達の間では常識でした。めんちゃんこと村田先生、キューピーンこと岩楯先生、くもさんこと二見先生、しょうきさんこと尾上先生一部披露しました。しかし石田先生にはあだなニックネームも付きませんでした。これも人柄を反映し敬虔なクリスチャンで真面目な先生らしい事だと思います。

先生はキャッチボールとサッカーが好きでよく狭い校庭で相手をさせられた記憶があります。中学

三年の時クラス担任そして国語を教えていただいたのが最初で授業中一寸した悪戯や雑談が見つかるど拳骨のお見舞いが飛んできたものです。私達六回生は奥様の楨子先生にも家庭科の授業で教えを受けご夫婦で教えを受けた数少ない卒業生だと思います。

先生とは何か不思議な縁で結ばれている様に感じます先生は我々が卒業した後校長そして学院長に就任し母校の発展充実のため大変なご苦労と努力をされました。まさに温厚な人柄と卓越した手腕で母校に相応しい先生でした我々は授業以外にも人となりをも有形無形で教えられました。

私事で恐縮ですが子供三人とも母校でお世話になり二代で先生の教えを受けました又長男の結婚式に主賓として出席していただきお祝いのお言葉を賜りました披露宴の半分以上が母校の関係者で先生

は同窓会に出席したようだと驚かれ大変喜んでいただき二次会までお付き合いました。

その後学院長就任のお祝いに有志でご自宅に伺った時大変感激され近いうちにこの家を改築するので完成したら是非来てくれと云われました。その通りお招きをいただき伺いましたご夫婦で歓待されふだんアルコールを口にしないのにこの日はビールをゆっくり飲まれ教え子の話を目を細めにこにこ笑いながら聴いていた姿を思い出します。夕方までお邪魔し大変ご馳走になりました。

これからは残された楨子先生のいくらかでもお力になればと思っています。最後に先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

現役 クラブ紹介

吹奏楽部

野澤美有紀（第49回卒）



現在の吹奏楽部の部員数は、文化部ではおそらく最も多い70名です。うち中学生が42名、高校生28名となり、顧問には加藤芳信先生、立田たかね先生、中村優子先生をお迎えしております。

毎年夏に行われる全日本吹奏楽コンクールでは高等学校部門に出場しています。今年は惜しくも地区大会で敗退しましたが、ここ数年は神奈川県大会出場の常連校となりつつあります。強豪揃いの神奈川県で、中学生部員が多くいる団体が成績を残すのは、異例といってもよいのではないのでしょうか。

秋のアンサンブルコンテスト・文化祭、冬のクリスマス礼拝・定期演奏会と、予定されている舞台は多く、部員には常により緊張感が保たれています。

そして、役割こそ様々ですが、これだけの大人数で一つのものを創り

上げる芸術・競技は、なかなか見つからないと思われれます。そんな中では、技術もさることながら、人間関係が最も大切な要となります。

さらに、支えて下さっている学校関係者の方々や保護者の方々の力添え無しには何もできないということなどに、改めて気付かされることも多く、これらのクラブ活動で学んだことは、部員一人ひとりに貴重な経験として沢山の財産を残してくれています。

いつかは100名を超えるであろう吹奏楽部は、今後、音楽的にも組織的にも前進し続けるのではないのでしょうか。



観賞魚のことなら何でも聞いてください

観賞魚 珊瑚礁 (サニーマーティスト館1階)

第20回卒 山田匠馬さん

中学の時の担任が永野先生でした。永野先生はその前年に赴任してきて、はじめての担任だったんです。部活は美術部に入っていたんですが、スローな雰囲気の部活でした。顧問の秦先生、河西先生にも結構お世話になりましたね。2級下に竹中直人君がいましたね。彼は多摩美にいったんだけど、そのころから色々な雑誌に紹介されていました。

柳町に住んでいたので、当時、学校が近いからか、うちに友達が勝手に来て上がりこんでましたよね。僕が帰ると、あまり知らないやつが上がりこんでたりして(笑)溜まり場になっていたりがありますね。中学のころからこの店の手伝いをしていて、数学の加藤先生が買いに来て

くれたこともありましたね。高校の時、菊地先生が担任だったんだけど、仮病して店番しているときに見つかって「なんだおまえ!」と言われたこともあったね(笑)。

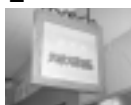
僕たちの代は5年に1回「あかばち」っていう同窓会をやっているんですよ。前々回は学食で、前回はホテルでやりました。前回には、遠いのでなかなか参加していただけなかつた塚田先生が久しぶりに長野からいらっしやいました。そのとき同窓生バンドが演奏したりして、すごくよかったですね。

この店は母が趣味で始めた店だったんです。珊瑚礁の名前は当時中学生の僕がつけたんです。州崎町で最初やっていてサニーマートが出来たと

き今の場所に入ったんです。サニーマートが出来てもう35年ですから長いですね。今では店をしているお陰で昔の友達がひょっこり来てくれたりして、うれしいですね。観賞魚のことなら何でもこたえられます。会報を見たよ!と店に来られた卒業生には、割引させてもらいます。是非遊びに来てください。



横浜市金沢区泥亀1-26-4
京急サニーマーティスト館1階
「観賞魚 珊瑚礁」
TEL 045-782-0052



思い出
の
街角スナップ

金沢文庫駅



現在の金沢文庫駅



昔の金沢文庫駅（昭和53年）

特 集

六葉会の活動



1953年（昭和28年）の春に第1回生87名が卒業して以来、本年の第51回生189名を加えて会員又は同窓生総数は10,735名となりました。

この同窓会には2つの目的があります。一つめは同窓生による母校の発展に貢献することです。そして二つめは同窓生自身の発展と親睦であります。母校である六浦中高を離れ、それぞれ違った環境や、社会へと入った今、同じ学校で学んだ卒業生がお互いに情報を交換し合い、心や生活を豊かにし、励まし合って生きて行けたら最高の幸せだと考えます。

六葉会は今年も会員の皆様の提言を積極的に取り入れ、会を運営したく考えております。そして、より充実した楽しい会にできればと願っております。

この六葉会の活動を今一度ご理解いただくために、その内容を簡単にご紹介いたします。尚、月一度、学校会議室において活動をおこなっておりますので、運営に興味のあるかたは是非事務局までご一報ください。

六葉会の活動

- (1) 卒業生の集いの開催
- (2) 名簿の発行（5年毎に発行）
……96年発行
- (3) 募金活動
（母校の建築等への援助）
- (4) 会報の発行（年一回）

各委員会の紹介

特別企画委員会

六葉会と母校の発展のために企画・運営の計画を立案し、貴重な働きをしています。

広報委員会

会報の発行により、卒業生の情報交換、学校の現状等についてホットなニュースを提供しています。

つどい実行委員会

「卒業生の集い」の企画・運営。卒業生のふれあいの場。年令の差を越えての楽しい集いが行われています。

名簿委員会

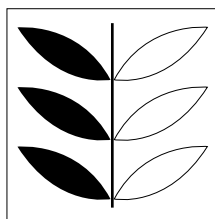
卒業生にとって大切な情報源である住所録の管理をしています。本

年10月からは、HPからも住所変更などが登録できます。

会員交流委員会

会員相互の交流を促進し、理解を深めることによって、同窓会の活力を生み出します。

六葉会のシンボルマークについて



「山上の垂訓」の1節にある「平和」(マタイ5章8節)を概観で表し、図案の6枚の葉はオリーブの葉で6年間の歩み及び六浦を表しています。

1組	小林 由衣・田代 勇気
2組	松浦 佑亮・水谷日香梨
3組	岡田 梨香・濱口 桂一

4組	高橋 秀雄・三田 謙介
5組	酒川 淳一・曹 珠美

上記の方々が学年幹事となられましたのでご連絡事項等よろしくお願い致します。転居されますと、会報等の郵便物が届かなくなります。住所変更は六葉会ホームページ又は六浦中高事務局781-2525までお知らせ願います。FAX 781-2527

関東学院六浦高等学校
51回卒業生六葉会幹事

六葉会2002年度 決算報告書

収入の部

科 目	2002年度予算	2002年度決算	増 減	備 考
5 0 回 生 会 費	2,865,600	2,865,600	0	199名
5 1 回 生 入 会 金	380,000	378,000	△2,000	189名
維 持 会 費	1,000,000	1,096,000	96,000	
卒業生の集い会費	50,000	0	△50,000	
受 取 利 息	5,000	104	△4,896	
繰 越 金	386,673	386,673	0	
合 計	4,687,273	4,726,377	39,104	

支出の部

科 目	2002年度予算	2002年度決算	増 減	備 考
運営費				
会 議 費	250,000	233,095	△16,905	
印 刷 費	200,000	95,025	△104,975	
通 信 費	100,000	36,910	△63,090	
消 耗 品 費	10,000	6,169	△3,831	
慶 弔 費	100,000	35,750	△64,250	パソコン関連機器 2件
援 助 費	200,000	140,000	△60,000	17件
合同同窓会分担金	150,000	109,700	△40,300	
活 動 費	50,000	0	△50,000	
雑 費	20,000	19,065	△935	
事業費				
会 報 印 刷 費	1,000,000	1,066,998	66,998	
会 報 発 送 費	1,150,000	868,265	△281,735	
行 事 費	200,000	17,053	△182,947	HCDなど
生徒会援助金	150,000	150,000	0	
積 立 金	700,000	700,000	0	
予 備 費	407,273	100,000	△307,273	キリスト教学校展賛助金
支 出 合 計	4,687,273	3,578,030	△1,109,243	
次 期 繰 越 金		1,148,347		
合 計	4,687,273	4,726,377	39,104	

六葉会2003年度 予算案

◆一般会計

収入の部

科 目	2002年度予算	2003年度予算	備 考
51 回 生 会 費	2,865,600	2,721,600	189名
52 回 生 入 会 金	380,000	374,000	187名
維 持 会 費	1,000,000	1,000,000	
卒 業 生 の 集 い 会 費	50,000	50,000	
そ の 他 の 収 入	5,000	5,000	受取利息から名称変更
繰 越 金	386,673	1,000,000	
収 入 合 計	4,687,273	5,150,600	

支出の部

科 目	2002年度予算	2003年度予算	備 考
運営費			
会 議 費	250,000	250,000	
印 刷 費	200,000	100,000	
通 信 費	100,000	50,000	
消 耗 品 費	10,000	600,000	PC2台及び周辺機器
慶 弔 費	100,000	100,000	
援 助 費	200,000	200,000	
合 同 同 窓 会 分 担 金	150,000	150,000	
活 動 費	50,000	50,000	
雑 費	20,000	20,000	
事業費			
会 報 印 刷 費	1,000,000	1,100,000	
会 報 発 送 費	1,150,000	900,000	
会 行 事 費	200,000	100,000	
生 徒 会 援 助 金	150,000	150,000	
積 立 金	700,000	700,000	
予 備 費	407,273	680,600	
支 出 合 計	4,687,273	5,150,600	

◆在校生預り金会計

収入の部

科 目	2002年度予算	2003年度予算	備 考
法人預け金繰り入れ	2,928,000	2,904,000	1,210名
受 取 利 息	2,000	1,000	
収 入 合 計	2,930,000	2,905,000	

支出の部

科 目	2002年度予算	2003年度予算	備 考
50回生会費（一般会計へ）	2,865,600	2,721,600	
手 数 料	525	525	
次 期 繰 越 金		182,875	
支《一般会計》計	2,866,125	2,905,000	000

◆積立金

収入の部

《在校生会費預り金》	普通預金	みずほ銀行	000
科 目	普通預金	みずほ銀行	000
一 般 積 立 金	普通預金	みずほ銀行	000
受 取 利 息	2,000	1,000	000
収 入 合 計	702,000	701,000	

同窓会レポート「第5回あかばっち」

2002年11月22日にロイヤルパークホテル横浜において、第5回あかばっち（第20回卒同期会）が開催されました。卒業10年を機に第1回が開催されて以来、5年に一度の『あかばっち』ですが、今回で5回目となりました。今回も100名以上の出席者がありました。

会場はランドマークタワー展望ラウンジ直下のフロアで横浜の夜景を楽しみながらのパーティでした。余興として同級生のバンド「Peek-A-Boo」と「State Express」が登場し、懐かしい曲を演奏してくれました。同ホテルでの二次会にも殆どの出席者が参加し、さらに二次会からの同級生も合流して大いに盛り上がる事が出来ました。卒業してアツと言う間の30年ですが、振り返ってみると・・・

私たちが第20回生が卒業した1972年には佐藤栄作首相が首相連続在任7年8ヶ月という最長記録を残し、田中角栄首相にその座を譲りました。

また、大きな事件としては、連合赤軍の「あさま山荘事件」が起きたのもこの年でした。

第1回あかばっちがホテルリッチで

開催された1982年2月にはホテルニュージャパンでの火災が起き、機長の「逆噴射」によって日航機が羽田沖に墜落しました。

1987年の第2回あかばっちもホテルリッチで開催され、1992年第3回あかばっちにはザ・ホテルヨコハマで行われました。

この1992年には、大相撲初場所で貴花田（貴乃花）が19歳5ヶ月で史上最年少で優勝しました。3月には新幹線「のぞみ」が運行を開始し、10月にはジャイアンツに長嶋監督が復帰しました。宮沢喜一首相が、竹下登前首相に対する「皇民党ほめ殺し事件」の証人喚問などをめぐり、内閣改造に至りました。また、細川護 熊本県知事が日本新党を発足させたのもこの年でした。

第4回は1997年に母校学食で開催しました。

こうして今回、第5回目を迎えたのですが、卒業以来10年ごとに出来事を並べてみると、実に様々な出来事が起きているのにちよつと驚きました。

私達も今年で50歳になります。卒業以来様々な歴史を刻んできました。榮

しかったことや悲しかったこといろいろありました。

今、日本は一時の元気を失っていますが、第20回生は5年に一度の『あかばっち』には高校生に戻り、あのときの笑顔で全員集合！しています。

あかばっち幹事 野澤一良



学校へ行く 六浦祭

10/31(金)・11/1(土) 開催

OPEN・9:00 / CLOSE・16:00

10月31日・11月1日の2日間六浦祭が開催されます。卒業生の部屋として六浦会の部屋を今年も設けます。

門をって正面にある中学校舎4階です。卒業アルバムを全学年そろえて展示しています。現役の生徒にも先生の学生時代の写真がみることができるとあって毎年好評です。是非、足をお運びください。



入試相談コーナー (3号館2階)

今回も入試に関する相談コーナーを設けました。入学試験のこと、本校の学校生活のことなど、担当の教職員が対応します。是非、ご相談ください。

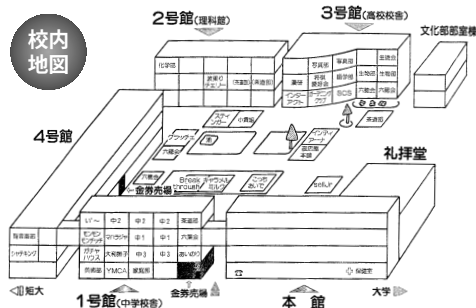
校内各エリアでの 催し物情報

礼拝堂

演劇部、吹奏楽部などが発表を行います。来てください。

グラウンド

サッカー部のOBとの試合を行います。
(11月1日10:30～)
見に来てください。



『六葉会 ドットコム♪』

<http://www.rokuyoukai.com>



2～3年前から懸案だった六葉会のホームページがいよいよ立ち上がります。
長嶋智子さん（41回卒）のご協力を頂き、母校創立50周年の記念する年に
開設することが出来ました。

神奈川新聞にお祝いの記事が掲載される10月25日 から卒業生の皆様にも
ご覧いただけるようになります。

六浦祭や六葉会の事業などの最新情報も発信していきますが、
会員の皆様の住所変更もこのHPから出来るようになります。

同期会などのお知らせを頂ければ、HPでPRすることも可能です。
卒業生の皆様のHP（個人・企業）もリンクしたいと思っておりますので、
よろしくお願いいたします。

卒業生のための文化経済交流はじまる！

9月5日(金)午後6時より、「関東学院六浦中学校・高等学校 文化・経済フォーラム」の発起人会(約30名)が横浜関内の東京ガス横浜支店の横浜クラブにて開催されました。

この「文化・経済フォーラム」は、六葉会の副会長の西岡義榮さん(第14回卒)の発案によるものです。

発会のきっかけは、母校が創立50周年になり広く卒業生の皆さんに文化的な交流や仕事の交流をはかり、さらに地域のボランティア等をささえて社会貢献をしようというものです。

発起人の西岡さんの話によると、「この10月25日の神奈川新聞には学校の50周年を記念して、六葉会が全面2ページにわたる卒業生の手による新聞広告を募集したところ、学校紹介の記事スペースを提供したところ、卒業生の反応が良く、予定よりはるかに早く広告が埋まりました。10年前の40周年のときは違って卒業生の社会的な地位は驚くほど向上したことを感じました。そこで、卒業生同士がもっとお互い仕事などで交流しあえないものかと考えました。かならずやこのフォーラムを続けることによって卒業生のためにも母校のためにもお役にたてるのではないと思いました。そして、会長には前校長の永野肇先生にお願いしました。」さらに、内容は「しごと経済交流ひろば」、「文化交流ひろば」そして、「地域ボランティアひろば」という三つのテーマで開催していくとのことでした。開催の予定は年間に3回〜4回ぐらい開催できればと考えているそうです。



挨拶をする吉沢寿朗氏(3回卒)



食事をしながら楽しい会話



仲間であらう語り会えたりしたら、仕事や商売就職などのヒントも出そうですね。

また、ボランティアに取り組んでいられる方々は動員や資金面のご相談も含めて是非一度お越しくださいとのことでした。

来たる、11月14日(金)午後5時から横浜駅西口に隣接した横浜エクセルホテル東急で創立総会が開催されます。なお、テレビやラジオでおなじみの経済評論家の杉村富生先生をお迎えして講演を予定しているそうです。タイトル「元氣を出そう、若手経営者諸君！」(会費一万円)。先輩や後輩の仲間であらう語り会えたりしたら、仕事や商売就職などのヒントも出そうですね。

また、ボランティアに取り組んでいられる方々は動員や資金面のご相談も含めて是非一度お越しくださいとのことでした。

第1回 関東学院六浦「文化経済フォーラム」

卒業してからしばらくたつた方々に、是非おすすめします。
文化、経済の交流と情報交換の場所をつくりました。

日時：平成15年11月14日(金) 17:00より

場所：横浜エクセルホテル東急 (旧横浜東急ホテル)

TEL 045-311-1682 会費：10,000

ご出席ご希望の方は、住所・お名前・ご職業・卒業期をご記入の上、11月7日(金)までに西岡(14期)までご連絡ください。
TEL 045(252)2711 FAX 045(251)8501



● 維持会費のご協力のお願い ●

2003年度の維持会費の納入をお願いしております。六葉会の運営に是非ともご協力下さい。納入は同封の郵便振込用紙をご利用の上4,000円(手数料別)お振込下さい。よろしくお願い申し上げます。

募

集

コ

ー

ナ

ー

来年度の六葉会会報の記事、投稿、想い出のスナップを募集しています。クラス会の報告や現役当時のお話などお待ちしております。

連絡先

0468-22-7772
住まいのショップ 長浜まで

編集後記

■OB訪問に来年どなたか出ていただけませんか？(長浜)
■今年もなんとか出来上がりしました。(石川)
■会報の作成にご協力いただきありがとうございます。

クラス会に

OB会に

助成金

六葉会から、クラス会やOB会に助成金が出ることを存じでしょうか。幹事になられた方は、是非一報ください。学校または学年幹事に連絡いただくと一クラスにつき三千円(OB会には五十人につき三千円)の通信補助がうけられます。どしどしご利用ください。

連絡先 関東学院六浦中学・高等学校
045-781-2525 中田まで

2004年度（平成16年度）

関東学院六浦中学校生徒募集要項

	A日程	B日程	C日程
募集人員	70名（男・女）	30名（男・女）	30名（男・女）
出願資格	いずれも本学院六浦小学校からの進学者を含みません。		
出願期間	2004年3月 小学校卒業見込みの者		
出願書類	入学志願票・受験票（本校指定）		
入学検定料	20,000円（銀行振り込み、C日程の2月2日～2月4日は願書受付窓口でも可） ただし、1月9日（金）～1月15日（木）の出願期間中に、2種類または3種類の試験を同時に出席する場合の検定料の合計は、一律30,000円とします。		
入学試験日	2月1日（日）午後	2月2日（月）午後	2月5日（木）午前
試験科目	国語・社会・理科・算数 または国語・算数	国語・算数	国語・算数
合格発表	2月1日（日）20:00～21:00	2月2日（月）20:00～21:00	2月5日（木）15:00～16:00
入学手続	入学手続時納付金：入学金230,000円 特別施設費200,000円		
	2月1日（日）20:00～21:00 2月2日（月）9:00～11:00	2月2日（月）20:00～21:00 2月3日（火）9:00～11:00	2月5日（木）15:00～16:00 2月6日（金）9:00～11:00
	＊特別施設費は2月5日（木）まで延納可能です。 延納納付期間：2月3日（火）・4日（火）9:00～14:00 2月5日（水）9:00～11:00		

*提出された書類、納入された入学検定料・納付金はお返し致しません。



道 順

京浜急行「金沢八景駅」下車（特急・急行停車駅）

金沢八景駅から

（徒歩の場合）

地図の矢印の道順で歩いて約15分。

（バス利用の場合）

国道16号に出て、バス停「金沢八景」より乗車

京浜急行バス「追浜日産自動車行」市営バス

「追浜行」のときは、「内川橋」下車、徒歩5分。

京浜急行バス「関東学院循環」のときは「関東学院大学」下車。

表紙作品：10回卒 島谷晃

2003. 11. 1発行

■関東学院六葉会 〒236-8504 横浜市金沢区六浦東1-50-1 045(781)2525

■印刷・(株)エイコープリント